



日中はまだまだ暑い日が続きますが、気づけば日ごとに陽が沈むのが早くなっているように感じられます。暑い夏を元気に過ごしてきた子ども達にも、少し疲れが見られ、発熱や下痢、嘔吐など体調不良のお子さまが増えています。症状が出た際は早めに受診を考え、適切な治療を受けることをお勧めいたします。早めの手当てと休息を心がけて重症化を防ぎましょう。



新年度がスタートし、早いもので5カ月が過ぎ、子ども達の体力もつき動きも活発になってきました。好奇心旺盛な子ども達、高い所（段差）からジャンプしたり、よじ登ったり、ぶら下がってみたり等、色んな事にチャレンジしようとする姿が多く見られるようになってきました。遊びを見守り保育をしています。とっさの行動をすることがあり、転んでしまうという場面も…。ご家庭でも公園で遊ぶことも多くあると思います。大きな怪我をしないためにも近くで見守り安全面に気をつけていきましょう。



今月の安全計画

地震時の対応となっています



ご家庭でも、災害時の避難場所や、食料品や水のストックは大丈夫か、家の中や近所で危険なところはないかなど確認してみるのもいいですね！



おなかのかぜ、しっかり消毒、しっかりブロック！



ウイルス性胃腸炎を起こすノロウイルスやロタウイルスには、アルコール消毒が効きません。おう吐物や下痢のうんちが付いた衣類や床は、必ず塩素系消毒液で消毒しましょう。塩素系消毒液は、酸性の製品やアルコールなどと混ぜると、有害なガスが発生して危険です。必ず単独で、水で薄めて使用してください。



しっかり準備



使い捨ての手袋とマスクを着け、ポリ袋、ペーパータオルなどを用意します。消毒液は適切な濃度に薄めておきましょう。窓を開けたり、換気扇を回したりして、換気します。

きっちり消毒

ペーパータオルや雑巾で、おう吐物を取り除きます。

●衣類は

消毒液につけて消毒するか、85℃以上の熱湯に1分間つけてから、ほかのものと分けて洗濯します。

●おう吐物が付いた床や家具

消毒液を浸した雑巾でふき取り、その後、水ぶきます。

ごみをびったり密封



おう吐物をふいたペーパータオルや雑巾は、ポリ袋に入れて消毒液をかけてから、しっかり密封します。二重にすると安心です。可能なら、ごみは回収日まで外に保管しましょう。

おう吐・下痢の症状の子が増えています！

おう吐・下痢のケア



吐き気が治ったら、子ども用イオン飲料やお茶、スープなど、飲める物を少量ずつ飲ませる



お尻はこすらずにお湯で洗い、タオルで軽く押さえて水分をふき取る



ご家庭で胃腸炎の症状のある方がいる場合は、保育者にお知らせください

症状が治まった後も、数日から数週間便の中にウイルスが排出され続けるため、周囲への感染リスクが残ります。

家庭療養の目安

下痢の場合

- ・24時間以内に複数回の水様便がある。
- ・食事や水分を摂るとその刺激で下痢をする。
- ・下痢と同時に体温がいつもより高い。
- ・朝に排尿がない。
- ・機嫌が悪く、元気がない。

嘔吐の場合

- ・24時間以内に複数回のおう吐がある。
- ・嘔吐と同時に体温がいつもより高い。
- ・食欲がなく水分も欲しがらない。
- ・顔色が悪く、ぐったりしている。

※胃腸炎での下痢便や嘔吐が続く場合は、普通便の確認ができてからの登所・嘔吐が治まり、普段通りの食事や水分が取れて、機嫌よく過ごせることを登所の目安としています。集団生活の為、感染拡大予防のご理解、ご協力よろしくお願いします。